

2020春闘特集

春闘特集 1 2020年春闘の前進をめざす闘い(案)

春闘特集 2 2019年度賃金と生活実態アンケート調査結果

春闘特集 3 2019年度家計簿調査と『感想・意見』

国鉄労働組合

2020年春闘の 前進をめざす闘い(案)

1. はじめに

国労は2019年7月30日～31日に第88回定期全国大会を開催し、1年間の闘う方針と併せて2020年春闘方針の骨格を決定した。

2019年春闘は、安倍自公政権が進めてきた危険極まりない政治を背景に、アベノミクスの破綻が明らかになる中で、生活の底支え、底上げをめざす闘いとなった。日本経済は、異次元の金融緩和の結果、大企業は空前の利益を上げる一方で、賃金は上昇せず貧困と格差はますます拡大している。

安倍首相は、自身が掲げたアベノミクスの破綻を覆い隠すために、2019年春闘においても経営側に賃上げを要請し、6年連続の政府主導の官製春闘を目論んだ。

国労は、第189回拡大中央委員会において定期昇給の完全実施と基準内賃金(平均)の4%相当額、1万2000円を基本とするベースアップを統一要求とし、各地から闘いを展開した。結果としてJR東日本が、1050円(対前年と平均比較278円減)、東海が1300円

(対前年同額)、JR西日本が1000円(対前年200円減)、JR九州は300円(対前年同額)、JR貨物は200円(対前年100円減)、一方でJR北海道、JR四国は18年連続ベアゼロとなった。2020年春闘は、生活の底支え、底上げをめざし、私たちが安心して暮らせる賃金と社会の実現に向け闘うことが求められる。そのためにも、全組合員が参加する職場からの春闘を展開し、産別、地域の仲間と連帯し、国民的課題にも取り組まなければならない。さらに、職場からの取り組みを通じて分会活動を活性化し、組織強化・拡大に繋げていくことが重要な取り組みとなる。

2. 2020年春闘を めぐる情勢

(1) 安倍政権は、「働き方改革関連法」を成立させ、労働法制をさらに改悪した。過労死ラインと呼ばれる月80時間をも超える時間外労働を「例外的上限」と称し、長時間労働が原因で過労死が起こっても自己責任とされかねない。また、高度プロフェッショナル制度(高プロ)の

創設は、労働基準法で定める労働時間(時間外規制)、休憩時間、休日及び深夜の割増賃金に関する規定をすべて外すというもので、8時間労働制の概念が崩壊し、残業代が支払われなければかりか長時間労働や過労死を助長するものでしかない。

(2) 昨年7月に行われた参議院選挙の結果、自民、公明、維新の「改憲勢力」が改憲発議に必要な3分の2の議席の確保はならなかった。安倍首相は、総裁任期残り2年の中で「残された任期の中で憲法改正に挑んでいきたい」と主張するとともに、野党の一部の取り込みにも意欲を示しており、最大限の警戒が必要である。一方で昨年まで6年連続で官製春闘を主導してきたが、2020年春闘に対して経団連は「従来型の賃上げやベースアップの議論ではなくなっている。生産性向上や付加価値の高い事業に貢献できる働き方が必要」とし、働き方改革などを重視する考えを表明している。

(3) 西村康稔経済財政担当相は10月23日、経団連の中西宏明会長ら幹部と会談し、2020年春闘での賃上げ継続を要

請した。西村大臣は「デフレ脱却に向けて賃上げ継続は必要だ」と指摘し、取引価格の適正化など中小企業が賃上げしやすい環境整備への協力も求めたが、政府は14年春闘以降、「官製春闘」ともいわれる7年連続の賃上げを財界に求めている。

(4) 日本経済は、米中貿易摩擦の激化による中国経済の停滞などで先行き不透明感が増しており、大規模自然災害の影響を受けつつも、緩やかな成長と停滞感がある中で、企業収益は好調を維持している。一方、労働分配率は低下を続け、実質賃金は回復しておらず、個人消費についても回復の傾向は見られない。2019年春闘では安倍首相が6年連続で官製春闘を主導したものの、定昇込み5987円、2・07%(63円増、同率・連合最終集計)と大企業を中心に5年連続のベースアップが実施されてきたものの、目標には到達しなかった。

(5) JR各社の2019年度第2四半期連結決算は、

① JR東日本は、8期連続の増収。売上高、経常利益が過去最高。通期予想は変更なし。

② JR東海は、8期連続の増収。営業・経常各利益が5期連続、四半期純利益は8期連続で過去最高。通期予想は上方修正。

③ JR西日本は、売上高、各利益とも過去最高。増収、営業・経常利益は3期連続の増益。通期予想は上方修正。

④ JR九州は、連結営業収益は3期連

続の増収で過去最高。連結営業利益、経常利益は7期ぶりの減益。親会社に帰属する四半期純利益は3期ぶりの減益。

⑤ JR四国は、昨年の西日本豪雨による被災で収益が落ち込んだ反動で、純損益は3期ぶりに12億円の黒字を確保した。

⑥ JR北海道は、昨年の台風21号や北海道胆振東部地震からの回復などにより、鉄道運輸収入は20億円の増収となり、営業収益としては26億円増。結果として連結営業収益は改善されたものの、連結営業損益は149億円の赤字。経営安定基金を入れた連結経常損益では6億円の黒字を確保した。通期予想は修正なし。

⑦ JR貨物会社は、昨年の豪雨災害の影響から回復し、運輸収入等が大幅に増加し、不動産事業は減収・減益となったものの、連結営業収益は増収、連結営業利益・経常利益ともに増益。

(6) 財務省が9月2日に発表した2018年度法人企業統計の企業動向(金融業、保険業を除く)では、売上高増加率が△0.6%、経常利益増加率が0.4%となり、製造業は増収減益、非製造業は減収増益となった。その結果、利益剰余金(内部留保)は463兆円となり、前年度を17兆円上回り、増加率は3.7%(前年度9.9%)で7年連続で過去最高を更新している。

(7) 内閣府が12月9日に発表した今年7月～9月期のGDP2次速報値の成長

率は、物価変動を除いた実質で0.4%(年率1.8%)で、4四半期連続のプラス成長となった。

(8) 総務省が4月19日に発表した昨年度(2018年)の平均消費者物価指数(2015年基準)は、総合指数が101.4(前年比0.7%上昇)、生鮮食料品、エネルギーを除く、総合指数が101.1(前年比0.3%上昇)と上昇した。

(9) 総務省が2月8日に発表した2018年の家計調査によると、一世帯(2人以上)あたりの消費支出は28万7315円で物価変動の影響を除いた実質で前年比0.4%の減少となり、勤労者世帯(2人以上)の実収入は前年比で、実質0.6%の減少となった。

(10) 厚生労働省が5月31日に発表した昨年度(2018年度)の毎月勤労統計(確報・従業員5人以上)では、一般労働者の現金給与総額が1.3%増の42万3355円となり、実質賃金は昨年比0.4%増となった。

(11) 国税庁の民間給与実態統計調査では、2018年の年収200万円以下はいわゆるワーキングプアは1098万人(21.8%)となり、昨年より13万人増となり、依然として高い割合となっている。また、総務省が発表した2018年労働力調査(平均)では、正規職員・従業員は、3485万人(53万人増)で、4年連続の増加、非正規職員・従業員は、前年比84万人増の2120万人

(37.8%・0.6増)と依然として高い比率となっている。

(12) ナショナルセンターなどの動向

① 連合は、12月3日に第81回中央委員会を開催し、2020年春季生活闘争方針を決定した。すべての働く者の将来不安を払拭し、「経済の自立的成長」「社会の持続性」を実現するためにも、分配構造の転換につながり得る賃上げが必要とし、「賃上げ」「働き方の見直し」を求めるとし、それぞれの産業全体の「底上げ」「底支え」「格差是正」の観点から、賃上げは前年と同水準の2%程度とし、定期昇給分を含めて4%程度とするとしている。

② 全労連や純中立労組などをつくる国民春闘共闘委員会は、11月21・22日に開催した国民春闘討論集会で2020年春闘方針を確認した。あらゆる格差をなくす春闘とし、根本的な構造の改革を求め、未来を切り拓く国民春闘にする。具体的な賃上げ額は、月額2万5000円以上、時間額1500円以上。最低賃金要求として時間額1500円以上をめざすこととしている。

③ 全労協などをつくる「20けんり春闘全国実行委員会」は、11月29日に発足・学習集会を開催し、2020年春闘方針を決定した。20春闘では多くの労働者が官民の枠、大企業、中小企業の枠、正規・非正規の枠を超えて団結を強化し、大幅賃上げを勝ち取るとともに、市民と連帯して社会的課題に真つ向から挑戦することが求められているとして、「8時間働けば生活でき

る賃金を！」を掲げ、「どこでも誰でも時給1500円、月額25万円以上の賃金補償を」として「2万円以上、7%以上の賃上げをめざす」とした。

3. 2020年春闘に対する国労の要求について

第4次安倍政権は、好調であった経済動向にも陰りが見え始め、アベノミクスの失敗を覆い隠すのに躍起になっている。西村大臣から財界への要請はあったが、6年連続して経済界に対し賃上げを求め、官製春闘を仕掛けてきた政権トップの安倍首相は、2020年春闘に対する明確な動きを見せていない。

緩やかな成長を続けてきた日本経済が停滞感を見せており、先行きについても、米中対立や日韓関係などの通商問題、消費税増税が懸念されるなど、見通しが不透明な状況にある。こうした状況だからこそ、GDPの約6割を占めるといわれる内需の拡大が不可欠となる。内部留保を示す企業の現金・預金額が過去最高を更新し続ける一方で、労働分配率は2015年以降上昇傾向にはあるものの、水準が回復したと言えるまでには至っていない。

日本のGDP成長率は、自然災害などがあつたものの4四半期連続のプラス成長となった。結果として、一世帯(2人以上)あたりの消費支出は、2018年平均で5年連続の実質減少となり、改善されなかった。大きな要因は、実質賃金が依然として低いレベルから改善されていないことや、いわゆるワーキングプアが1

0.98万人(21.8%)と高い数値で推移していることが大きな要因であることは明らかである。

JRの経営状況は、増収増益、過去最高益を重ねる本州三社と九州に対して、北海道、四国は厳しい経営状況となっている。自然災害の影響を大きく受けた貨物も赤字にはなったが不安定な経営となっている。

このような、取り巻く情勢の中にあつて、国労は2020年春闘を闘うにあたり昨年の春闘の総括から、全組合員参加の取り組みを追求する。

第一に全組合員が参加する職場からの春闘構築をめざす。そのために職場実態点検から要求を確立し、改善行動を展開する。また、職場から分会活動を活性化させ、日常的な職場運動を展開し、他労組、関連労働者とともに取り組みを強化することから組織拡大をめざす。

第二は、厳しい労働環境下にありながらも地域で闘う仲間と連帯し、安倍政権からの転換をめざす闘いから地域春闘を構築する。

第三は、JR北海道や四国、貨物に顕在化している経営にかかわる構造矛盾の解決、整備新幹線開業による並行在来線の経営問題、「鉄道政策に関する提言」の実現と安全・安定輸送確立に向けた闘いを強化する。

賃上げ要求については「賃金・生活実態アンケート」調査結果を踏まえ、JR各社の経営状況や賃金体系、産別の要求実態等を視野に置きながら、組合員の生活改善と労働条件改善のために、定期昇給の完全実施を求め、生活を改善させ向

上するために、基本給(平均)の4%相当額、1万1000円のベースアップを基本とする統一要求とし、全社とも有額回答を求め、その実現をめざすこととする。

(1)闘いの目標

- ① 生活改善のための賃金底上げを前提に非正規社員を含む、全ての労働者の賃金引上げ
- ② JR各社と全グループ会社における国労組織の拡大
- ③ 企業内・産業別最賃、全国一律最低賃金制度の確立
- ④ 退職まで安心して働き続けられる雇用制度の確立と労働条件改善
- ⑤ 地方交通線・並行在来線の切捨て反対、政府の抜本的な支援策とスキームの見直し
- ⑥ JR北海道、四国、及び、貨物の「構造矛盾」を解消し、安全・安定輸送・経営基盤の確立
- ⑦ 自然災害からの復興、被災地への支援策強化
- ⑧ 原発再稼働反対、原発依存のエネルギー政策の転換
- ⑨ 放射能汚染対策強化、被災地鉄道路線に従事する労働者の安全確保と健康不安解消
- ⑩ 労働基準法改悪反対、働き方改革関連法の改訂、解雇の自由化反対、労働者保護法制定
- ⑪ 憲法改悪阻止、消費税増税反対、年金改悪反対、安心して暮らせる社会と保障制度の確立、安保法制・「共謀罪」の廃止、「戦争する国づくり」反対

(2)統一重点要求

- ① JR各社における定期昇給の完全実施と2020年4月1日時点における基本給(平均)の4%相当額、1万1000円を基本とするベースアップを求める
- ② 再雇用者(60歳以上)の賃金底上げをめざす制度改正を求める
- ③ JRグループ各社における定期昇給の完全実施。制度のない会社における定期昇給制度の確立
- ④ グループ会社に対する要求は、JR本体の要求を基本とし、時給制度社員は1500円を目標に、当面は1000円以上の実施を求める
- ⑤ 初任給の改善。第2基本給廃止。成果主義賃金制度反対。公正な人事・賃金制度の確立
- ⑥ 人減らし「合理化」反対。安全・安定輸送の確立。業務委託・外注化施策の見直し。出向制度の改善
- ⑦ サービス残業根絶。年間総労働時間1800時間実現。時間外割増率50%・休日割増率100%の実現
- ⑧ 50歳以上の在職条件と60歳以上の賃金・労働条件の見直し。65歳定年制の実現
- ⑨ 非正規社員の正社員化。グループ会社の賃金・労働条件改善

(3)具体的な闘いの展開

- ① 2020年度賃金引上げ要求は、2月12日(水)に労働条件改善要求等と共に、JR各社一斉に申し入れる。回答指定日は、3月13日(金)を基本とし、第一次回答ゾーン(3月10日～13

日)および第二次回答ゾーン(3月16日～19日)とする。さらにグループ会社においては3月内決着をめざす

② 春闘の闘いから組織拡大を展望し、全組合員で組織強化・拡大運動を取り組む

③ 職場点検から「職場改善要求」を確立し、改善を求める取り組みを全組合員で展開する。また、要求支持署名や学習会、宣伝行動など創意工夫した取り組みを実施する

④ 3月3日(火)に中央総行動を設定し、客貨一体となった取り組みを追求する

⑤ 交運労協主催の総決起集会や地域春闘集會に積極的に参加し、中央・地方から春闘の構築をめざす

⑥ 闘いの目標・統一重点要求実現に向けてストライキを背景とした取り組みを展開する。具体的な運動の指導調整と戦術判断は、中央戦術委員会に諮問し、中央執行委員会で決定する

⑦ 安保法制・「共謀罪法」廃止、労働法制の改悪阻止など、国民的課題の闘いに全力をあげる。特に憲法改悪阻止の闘いに共闘の仲間と共に全力をあげる

以上

2019年度 中間報告

貸金・生活実態 アンケート調査結果

調査方法

国労本部は、春闘における賃金引き上げ要求の根拠となる組合員の切実な要求と生活実態を把握するため、長年にわたり「賃金・生活実態アンケート調査」を取り組んできました。2019年度についても「賃金・生活実態アンケート調査」(2019年8月25日～31日)及び「家計簿調査」(2019年9月分)を取り組み、「賃金・生活実態アンケート」には2777名の方にご協力頂きました。あらためて心から感謝申し上げます。

今年度も昨年と同様、要求額については「要求額の根拠」となる項目について金額で記入し積み上げるのではなく、重要な「根拠」に○を付けてもらうことで重要度をはかるとともに、生活実態をより反映させる調査方法としました。また、各機関の調査業務をフォローするため、回収した「アンケート用紙」は入力作業のみを行って頂き、集計は本部にて行う方法で取り組みました。

以下、資料を以って報告とします。

(1) 調査期間
2019年8月25日～8月31日

(2) 対象者

全組合員(但し、病気等休職、退職前
提休職及び契約・臨時雇用組合員を除く)
と他労組組合員

(3) 最終回収日

2019年12月6日

(4) 集計方法

① 個々の集計は「エクセルソフト」を
活用し、生のデータを集約する方式
とした。

② 集計にあたっては各設問の有効回答
数を総数とし、合計値は加重平均と
した。

③ 各設問において、明らかに「誤答」
と判別された部分の修正・削除等に
ついては集計者の責任において行っ
た。

④ 賃金・手当等の平均額については、
回答者全ての平均額であり再雇用・
関連会社に働く方も含めた額となっ
ている。よって、各社における回答

者の現状は、P14以降に記載した
〈別表〉各社毎の年齢別「賃金の内
訳」から解析頂きたい。

(5) その他

① 各社ともに限られたサンプル数であ
ることから「参考値」とされたい。

② 「回答内容」については、昨年度同
様の様式による「対前年度との比較」
を記載した。

調査結果

1. 会社・地方本部別の組合員分布

調査対象を全組合員として取り組んだ
が、全体の集約率は5割弱であったこと
を注視しつつも、労働者の生活実態を示
すアンケート調査として、一定の役割を
示す集約数となった。

今年の調査においても、「早期資料化、
職場討議期間の保障を」との意見に配慮
しつつ、これまでと同様に調査時期を8
月として実施したが、例年アンケート記
載漏れなどによる修正作業とともに、ア
ンケート・家計簿調査の集約作業の遅れ
が生じたことから、年度内配布として役

立てるため「本資料」があくまでも中間
報告となっている点に留意されたい。

2. 年令構成と勤続年数

平均年令は前年調査比暦年増の58・
1才。勤続は39・0年となった。

具体的には「年令分布」(表2)で明
らかなように、55才以上59才以下が
全体の5割を超える53・8%(前年度
61・8%)を占め、54才以下が6・
8%となっている。また、60才以上の
「再雇用者」については、1122名(全
体構成比40・4%。昨年910名、全
体構成比29・1%)と毎年増加してい
ることから、組合員の年令構成が一段と
高齢化している現状がうかがえる。その
上で、「集計方法」でも触れたように、
各社の退職再雇用制度により雇用されて
いる方の賃金については、各社毎の「賃
金の内訳」(別表)に記載しているので、
あわせて参照いただきたい。その中では、
他労組の青年にもアンケートに協力頂い
た事が伺える。

3. 家族構成等

「世帯員数別の分布」は調査対象者の
変動などの要素もあるが、内容的には一
世帯あたり2・8人(昨年2・8人)〈表
5〉となっており、割合においては昨年
と変化はない。

次に、「子供の成長過程」(表6)で
は、回答された組合員の平均年令が更に
高まる中で、前回の調査と同様に、第1
位は「就業者」74・7%(昨年73・
4%)となった。また、第2位以下は「大
学生」の割合が11・7%(昨年14・

0%)と最も多く、次いで「高校生」が6・7%(昨年8・1%)、「中学生」が2・8%(昨年3・4%)、「専修生」が2・4%(昨年3・4%)、「小学生」が2・3%(昨年2・5%)の順となった。組合員の学費負担の割合は、構成員の年齢に比例し減少していることが推察される。組織拡大の成果ともいえる若・中年層の組合員からの回答では、「幼児」が1・3%(昨年1・7%)、「乳児」が0・4%(昨年0・4%)という結果になった。

「住宅事情」(表7)については、「持ち家返済中」が35・1%(昨年37・5%)とわずかに減少、その分「持ち家返済完了」が42・3%(昨年38・2%)となっている。ここでも組合員の年齢構成から「持ち家」が全体の約4分の3を占めている。今回の調査でも「住宅取得資金」借入返済中との対象者の返済方法と返済額(平均一人当たり年間約120万円)(表13)についても回答を受けているが、所有住宅を持つことは家計支出のウエイトが高いと言える。

4. 生計他

「生計の内訳」は(表4)の通りで、その内「本人収入のみ」は43・2%(昨年44・8%)に対し、57・8%の世帯で「他の何らかの収入」があると回答している。「生計」と関連して「質問事項2」(表9)で「JR以外からの収入」では1400件の回答があり、平均金額は10万円を超え、「配偶者」及び「家族」の収入が家計を支えていると言える。また、この間の会社側の諸施策等によ

る「単身赴任者」(表4)は、年々減少傾向にあり、全国49人(昨年は51人)となっている。内訳は、東日本21人、東海1人、西日本19人、四国3人、貨物2人、バス1人、関連2人である。こうした「二重生活」となる単身赴任は、本人はもとより残された家族の公私を含めた生活に重大な影響を及ぼすことから発令にあたっては「本人・家族への十分な説明と家庭事情等も配慮した納得性のある制度」とすべきであり、加えて「本人の同意なき配転・出向」を許さない取り組みが継続されている。

5. 8月分賃金

2019年8月現在の賃金は(表8)の通りとなっている。JR会社間、関連会社の間でも賃金「格差」が拡大しており、手取り額平均で見ても西日本(24万7764円)と北海道(16万6134円)の差は8万1630円、関連企業(14万9309円)だと9万8455円の差が生まれている。

また同時に、第二基本給も調査し、各社別の平均額は次の通りとなっている。(別表参照)

北海道	7万6457円
東日本	6万0529円
西日本	5万2209円
四国	7万6132円
九州	7万2452円
貨物	5万6760円
全国平均	6万5705円となっている。

第二基本給制度については、退職金の算定基礎額が引き下げられることにより

退職金が大幅に減額される制度であり、私たちは一貫して制度廃止を求めてきている。引き続き、制度廃止に向けた取り組みが求められている。

なお、東海会社及びソフトバンク会社については、新人事制度への移行に伴い「退職金制度変更」があり、ポイント制となったことから「第二基本給」が廃止されている。また、貨物会社は2019年4月の「新人事賃金制度」移行に伴い、「第二基本給」を廃止し、勤続年数と等級の在職年齢に応じたポイントを用いた退職手当の見直しが行われる。

6. 赤字とその補てん

会社別の内訳は(表10)の通りで、62・9%、1748人(昨年61・3%、1913人)が月平均4万1153円(昨年5万58円)の赤字があるとしている。また、この「赤字の補てん方法」では、第1位が期末手当47・3%、第2位に預・貯金引き出し46・5%と続き、第3位が金融機関等からの借入れ3・8%となっている。

このことを裏付ける整合性として後段の「夏季手当の使途」(表12)の調査でも、全ての会社で生活費の補てんが第1位(21・4%)を示し、続く第2位には預・貯金(19・6%)、3位に借金の返済(10・9%)との回答がなされている。

7. 生活上の節約方法

前述の「赤字の補てん方法」と同様に、生活防衛としての儉約・節約についての調査(表11)は、より整合性を持った内

容となるとの観点から実施しているもので、第1位が外食(15・6%)、第2位旅行・レジャー(14・0%)、第3位が衣類購入(13・4%)、第4位は小遣い(11・0%)など、その傾向値は、ほぼ昨年と同様のものとなっている。

この間、2014年4月1日の消費税8%に引き上げ、2019年10月10%への引き上げをはじめ、社会保険料負担増、電気料金の引き上げ、介護保険料の引き上げ分を「衣・食料費」「教養・娯楽費」などで支出を抑え、家計のやりくりをしていることが鮮明となっている。更に2020年は消費税の10%への引き上げが影響し、生活上の節約幅が拡大する可能性がある。

8. 借金の理由

調査に協力頂いた方のうち64・4%の方(赤字があると回答した方と同じ)が何かしらの借金(表14)をしており、例年同様の結果となっている。その第1位は「住宅資金」の38・1%。第2位は「耐久消費財」22・7%の回答は自動車購入が大半と思われるが、「生活費」も第3位の19・4%となっている。一方、JR各社で借金の理由順位に違いがあり、耐久消費財(景気の影響を受けやすい支出)より生活費を理由とした借金のウエイトが高い会社と、そうでない会社に分類される。近年続く大規模災害が、組合員・家族に与える影響がどの程度かと言う状況も今後の調査課題であるが、借金せずに生活できる賃金が求められ、生活実態の違いが示された。

9. 貯蓄の目的

「貯蓄の目的」(表15)の第1位は「老後の備え」(31.6%)、第2位は「病気等」(27.6%)で、第3位が「家計」(25.7%)となっている。第4位は「旅行・レジャー」(6.4%)となっている。「教育費」に関する貯蓄は5位(3.8%)となっている。組合員の年齢構成と子供の成長過程の変化が伺える。「家計」への補てんは第3位であるが、賃金抑制が継続される中で家計へのしわ寄せの表れであり、賃金引き上げを求める根拠がここでも示されている。近年の大規模災害に備え貯蓄と世代的不安、年金・社会保障費における度重なる改正など、安倍政権が労働者に与えている不安の表れである。

10. 夏季手当の使途

「夏季手当の使途」(表12)の第1位は「生活費の補てん」21.4%、住宅・老後資金や次期末手当までの生活つなぎ資金としての「貯金」についても19.6%と第2位を占めている。第3位は「借入金返済」、第4位以下「小遣い」「衣類購入」「旅行」等々が続いており、期末手当も私たちの生活費の一翼を担い、いまでもなく「生活給」となっている実態が明らかとなっている。

11. 住宅ローンの返済額

前段の「住宅事情」で「持家返済中」と回答されたのは35.1%(昨年37.5%)であり、997人が毎月と期末手当時の返済額を含めると、年間平均額1

20万円の支払いがある、との結果となった。

各社における社宅制度の改正(使用料金の大幅な引上げ等)が進む中で、持家を求める傾向が高まってきた。当事者にとっては生活費へのしわ寄せが続くこととなる。

12. 生活程度

「生活程度の満足度」(表17)の項目では、2748名の回答で、「何ともいえない」が34.6%と一番回答が多く、「満足」と「やや満足」の合計は14.4%となった。一方で「やや不満足」と「不満足」の合計は51.0%で、「何ともいえない」34.6%を加えれば、実に85.6%(昨年は85.7%)の方が今の生活に満足していないという結果となった。

13. 生活改善課題

今回の回答でも「年金問題」(16.9%)が1位となった(表16)。続いて第2位が「税金・社会保険料の軽減」(15.3%)と年金・税金問題が1位・2位となり、第3位が「労働条件改善」(12.2%)、第4位が「医療問題」(8.9%)、と近年この状況が続いている。第5位「借金」と第6位「定年延長」となり、組織の年齢構成も反映した60歳以降の働き方と生活が密接に関連していることを示す結果となっている。

組合員・家族の関心は、現状の生活と今後の課題に照らし変化してきた。組合員の家族構成や平均年齢でもわかるように、すでに子育てが一段落した世帯の回

答が増加する一方で、医療・年金制度改善などの問題が身近にせまる課題として、「安心して暮らせる賃金」「年金・社会保障制度の充実を」という視点が反映された回答といえる。

14. 新賃金引き上げとその根拠

「要求の根拠」(表18-2)については、一昨年から該当項目に○を記入する方式としているが、延べ6578件の回答があり、第1位が「病気・老後の備え」(29.2%)、第2位が「生活向上資金」(28.7%)、第3位が「赤字の補填」(18.3%)の結果となった。

「要求額」(表18-1)については、第1位が昨年同様に「4万1円以上5万円まで」(25.7%)、第2位が「2万1円以上3万円まで」(25.6%)、第3位が「1万円まで」(17.0%)、そして「平均要求額」は3万8205円となり、昨年比2239円増との結果となった。

今年度より追加した「年代別の要求額」(表18-3)では、60歳以上の再雇用組合員の要求額が、59歳以下の現職組合員より5219円多い要求額となっている。生活実態を反映させた「要求額」になったものと見ることができるとなる。

年度別の全国平均値の対比

項目	2019年度の回答内容【回答者数 2,777名】			2018年度の回答内容【回答者数 3,126名】		
年齢・勤続・家族数	58.1才	39.0年	2.8名	57.5才	42.1年	2.8名
生計	会社収入のみ 43.2% 家族収入あり 56.8%			会社収入のみ 44.8% 家族収入あり 55.2%		
単身赴任	旅客44人、貨物2人、バス1人、関連2人(回答者の1.7%)			旅客42人、貨物6人、バス3人(回答者の1.6%)		
子供の成長	①就業 74.7%	②大学 11.7%	③高校 6.7%	①就業 73.4%	②大学 14.0%	③高校 8.1%
住宅事情	①持家完了 42.3%	②持家返済中 35.1%	③民間賃貸 7.5%	①持家完了 37.5%	②持家返済中 38.2%	③民間賃貸 8.0%
基本給	284,512円			296,100円		
都市手当	9,417円			12,856円		
扶養手当	5,547円			6,854円		
その他	60,936円			61,256円		
総支給額	360,317円			377,111円		
控除額	143,505円			153,621円		
手取額	216,739円			223,442円		
配偶者の収入	100,500円			101,604円		
配偶者以外の収入	78,631円			72,225円		
月平均赤字額	41,153円 62.9% 1,748名			40,058円 61.3% 1,913名		
住宅ローン返済額	1,201,999円 35.9%			1,241,020円 37.2%		
赤字の補てん	①期末手当 47.3%	②預・貯金 46.5%	③金融機関 3.8%	①期末手当 47.5%	②預・貯金 46.9%	③金融機関 3.4%
「節約」内容	①外食 15.6%	②旅行 14.0%	③衣類購入 13.4%	①外食 15.1%	②旅行 14.2%	③衣類購入 14.1%
	④小遣い 11.0%	⑤教養・娯楽 10.3%	⑥耐久消費 9.8%	④小遣い 11.0%	⑤教養・娯楽 10.2%	⑥耐久消費 9.5%
「夏季手当」の用途	①生活費 21.4%	②預・貯金 19.6%	③借金返済 10.9%	①生活費 20.7%	②預・貯金 19.7%	③借金返済 11.5%
	④小遣い 9.3%	⑤耐久消費 7.9%	⑥旅行 7.6%	④小遣い 9.5%	⑤耐久消費 7.8%	⑥旅行 7.2%
借金の理由	①住宅資金 38.1%	②耐久消費財 22.7%	③生活費 19.4%	①住宅資金 38.7%	②耐久消費財 21.3%	③生活費 18.1%
貯蓄の目的	①老後資金 31.6%	②病気等 27.6%	③家計 25.7%	①老後資金 31.2%	②病気等 27.5%	③家計 25.6%
生活の改善課題	①年金問題 16.9%	②税金等 15.3%	③労働条件 12.2%	①年金問題 16.0%	②税金等 15.4%	③労働条件 12.4%
	④医療問題 8.9%	⑤借金問題 7.5%	⑥定年延長 7.5%	④医療問題 8.5%	⑤借金問題 8.1%	⑥定年延長 7.8%
	⑦住宅関係 7.2%	⑧小遣い 6.0%	⑨趣味・旅行 4.9%	⑦住宅関係 7.4%	⑧小遣い 5.6%	⑨趣味・旅行 4.8%
生活の満足度	①何とも言えない 34.6%	②やや不満 28.5%	③不満足 22.5%	①何とも言えない 35.5%	②やや不満 27.8%	③不満足 22.4%

「春闘」賃上げ要求額

第1位	40,001円～50,000円(25.7%)	40,001円～50,000円(26.8%)
第2位	20,001円～30,000円(25.6%)	20,001円～30,000円(24.7%)
第3位	～10,000円(17.0%)	～10,000円(17.3%)
平均要求額	38,205円	35,966円

年代別要求額	59歳以下		60歳以上	
	人数	要求額	人数	要求額
	1,655	36,041円	1,122	41,260円

〈表1〉 「エリア・地方本部別」集計枚数

機関名	集計数	機関名	集計数	機関名	集計数
北海道	72	東海	240	四国	81
旭川	16	静岡	85	香川	30
札幌	56	名古屋 新幹線	46 109	愛媛	16
				高知	25
				徳島	10
東日本	1,583	西日本	706	九州	95
盛岡	260	北陸	69	北九州	31
秋田	60	近畿	379	博多	30
仙台	323	米子	79	佐賀	3
新潟	33	岡山	59	長崎	24
高崎	105	広島	120	鹿児島	7
水戸	103				
千葉	73				
東京	447				
長野	179			合計	2,777

「会社別」回答者数

会社名	人数	比率
JR北海道	53	1.9
JR東日本	1,328	47.8
JR東海	207	7.5
JR西日本	618	22.3
JR四国	81	2.9
JR九州	84	3.0
JR貨物	255	9.2
(小計)	2,626	94.6
JRバス 関連会社	26 125	0.9 4.5
合計	2,777	100.0

〈表2〉 [基本項目] = 年齢分布・勤続年数・性別 =

会社名	人数	20代	30代	40代	50代		60代	平均 年齢	平均勤 続年数	性別	
					50-54	55-59				男	女
	名	名	名	名	名	名	名	才	年	名	名
JR北海道	53	0	0	0	2	16	35	60.4	41.4	53	0
JR東日本	1,328	4	7	7	14	871	425	58.4	39.5	1,326	2
JR東海	207	0	1	3	2	96	105	59.3	40.2	207	0
JR西日本	618	6	12	4	6	323	267	58.3	39.5	616	2
JR四国	81	0	0	1	4	46	30	58.3	39.5	81	0
JR九州	84	1	1	3	0	44	35	58.1	38.5	84	0
JR貨物	255	16	17	26	8	87	101	54.2	34.9	254	1
JRバス	26	0	0	5	0	7	14	57.7	34.7	26	0
関連会社	125	3	3	5	0	4	110	59.8	36.9	123	2
合計	2,777	30	41	54	36	1,494	1,122	58.1	39.0	2,770	7

〈表3〉 [基本項目] = 職務 =

会社名	人数	現職	現職出向	再雇用(同 一職種)	再雇用出 向	その他(関 連会社)
JR北海道	53	14	3	31	5	0
JR東日本	1,104	650	144	135	172	3
JR東海	207	109	11	56	31	0
JR西日本	610	363	19	217	10	1
JR四国	76	37	14	19	6	0
JR九州	84	51	1	31	1	0
JR貨物	208	129	13	46	18	2
JRバス	26	7	5	12	1	1
関連会社	122	3	2	16	66	35
合計	2,490	1,363	212	563	310	42

〈表4〉 [基本項目] = 生計・単身赴任 =

会社名	人数	自分だけ の収入	家族の収 入あり	単身赴任 中
JR北海道	52	26	26	0
JR東日本	1,308	567	741	21
JR東海	205	92	113	1
JR西日本	614	282	332	19
JR四国	80	25	55	3
JR九州	82	26	56	0
JR貨物	250	110	140	2
JRバス	26	9	17	1
関連会社	124	48	76	2
合計	2,741	1,185	1,556	49

〈表5〉 [基本項目] = 家族構成 =

会社名	回答数	独身	独身(親と同居)	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯以上	平均家族数
	名	名	名	名	名	名	名	
JR北海道	53	2	2	25	16	8	0	2.5
JR東日本	1,310	132	94	358	336	239	151	2.9
JR東海	204	19	20	50	52	33	30	2.9
JR西日本	612	62	32	171	153	129	65	2.9
JR四国	80	7	4	25	20	11	13	3.0
JR九州	82	3	2	31	20	14	12	3.0
JR貨物	250	39	28	63	62	37	21	2.6
JRバス	26	5	2	6	6	4	3	2.7
関連会社	123	12	6	39	33	21	12	2.8
合計	2,740	281	190	768	698	496	307	2.8

〈表6〉 [基本項目] = 子供の成長過程 =

会社名	回答数	就業	大学生	短大	専修生	高校生	中学生	小学生	幼児	乳児	その他
	名	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
JR北海道	44	84.1	6.8	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5
JR東日本	1,000	76.8	11.7	0.8	2.5	6.9	3.1	2.2	0.4	0.2	11.5
JR東海	198	64.1	12.6	0.5	1.0	7.1	2.0	0.5	0.5	0.0	11.6
JR西日本	490	72.9	13.3	0.4	3.3	7.3	2.2	2.9	2.0	0.4	12.7
JR四国	69	81.2	8.7	2.9	2.9	8.7	2.9	0.0	1.4	0.0	8.7
JR九州	70	81.4	12.9	0.0	4.3	5.7	2.9	4.3	4.3	0.0	7.1
JR貨物	171	66.7	9.4	0.0	1.8	7.0	3.5	3.5	4.1	2.3	12.3
JRバス	19	94.7	21.1	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0
関連会社	95	81.1	8.4	0.0	1.1	3.2	3.2	1.1	0.0	0.0	13.7
合計	2,156	74.7	11.7	0.6	2.4	6.7	2.8	2.3	1.3	0.4	11.5

〈表7〉 [基本項目] = 住宅事情 =

会社名	回答数	持家返済完了	持家返済中	社宅	独身寮	親と同居	公営賃貸	民間賃貸
	名	%	%	%	%	%	%	%
JR北海道	53	62.3	24.5	3.8	0.0	1.9	1.9	5.7
JR東日本	1,310	41.1	35.3	9.4	0.0	7.1	0.8	6.3
JR東海	205	50.7	31.7	0.5	0.5	7.8	0.5	8.3
JR西日本	615	42.4	38.7	2.3	0.5	6.0	0.8	9.3
JR四国	81	40.7	29.6	0.0	1.2	16.0	0.0	12.3
JR九州	82	34.1	54.9	3.7	0.0	2.4	1.2	3.7
JR貨物	249	34.5	30.1	12.0	2.8	12.4	0.8	7.2
JRバス	25	44.0	24.0	8.0	0.0	0.0	0.0	24.0
関連会社	124	53.2	27.4	4.8	0.0	6.5	0.0	8.1
合計	2,744	42.3	35.1	6.6	0.4	7.3	0.7	7.5

〈表8〉 [質問事項1] =8月分賃金の平均額=

会社名	基本給	都市手当	扶養手当	その他	総支給額	控除額	手取額	人数
JR北海道	191,123	2,147	2,660	54,934	250,864	84,730	166,134	53名
JR東日本	302,180	9,421	6,658	59,480	377,545	159,177	218,216	1,314名
JR東海	287,315	11,267	3,054	78,930	380,566	150,576	229,991	205名
JR西日本	314,307	13,266	5,716	59,759	393,048	145,284	247,764	611名
JR四国	240,338	0	5,852	41,887	288,077	127,701	160,376	81名
JR九州	226,746	4,428	6,030	56,567	293,771	121,207	172,564	83名
JR貨物	230,585	8,942	4,462	70,376	314,365	114,659	199,705	251名
JRバス	208,653	9,607	2,885	98,885	320,030	110,871	209,158	26名
関連会社	176,590	721	443	42,984	220,737	71,428	149,309	122名
合計	284,512	9,417	5,547	60,936	360,317	143,505	216,739	2,746名

〈表9〉 [質問事項2] =JR以外の収入(人数と平均額)=

会社名	(1)配偶者の収入		(2)配偶者以外の収入		(3)家業・財産収入		JR以外の収入	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	回答数	平均金額
JR北海道	25	123,200	6	50,833	0		28	120,893
JR東日本	612	99,755	109	73,055	22	88,727	663	107,036
JR東海	97	111,732	19	82,895	4	155,000	100	130,330
JR西日本	269	102,688	60	86,467	11	46,364	299	111,441
JR四国	42	100,095	6	85,000	2	45,000	49	98,041
JR九州	49	99,510	9	67,778	1	30,000	52	106,077
JR貨物	108	93,954	23	98,696	7	96,714	127	103,102
JRバス	14	74,643	3	66,667	1	100,000	16	84,063
関連会社	60	89,583	9	62,778	4	114,500	66	96,939
合計	1,276	100,500	244	78,631	52	85,327	1,400	108,472

〈表10〉 [質問事項3・4] =赤字とその補てん=

会社名	毎月の赤字			「赤字の補てん」比率				
	回答数	比率	赤字(平均額)	①金融機関	②親・知人	③期末手当	④預・貯金	⑤その他
JR北海道	36	67.9	41,389	7.1	0.0	42.9	50.0	0.0
JR東日本	848	63.6	41,114	3.1	0.9	48.9	46.3	0.8
JR東海	122	58.9	44,361	1.7	0.0	48.9	47.2	2.1
JR西日本	357	57.8	39,647	5.8	2.0	44.1	46.5	1.6
JR四国	58	71.6	38,603	6.8	4.9	42.7	45.6	0.0
JR九州	63	75.0	43,698	0.8	0.8	50.4	45.4	2.5
JR貨物	160	62.7	40,400	4.5	1.6	46.9	45.3	1.6
JRバス	19	73.1	51,053	8.8	0.0	44.1	44.1	2.9
関連会社	85	70.8	42,212	1.3	0.0	47.8	49.7	1.3
合計	1,748	62.9	41,153	3.8	1.2	47.3	46.5	1.2

〈表11〉 [質問事項5] =「節約」している支出項目＝

会社名	①主食	②副食	③嗜好品	④外食	⑤衣類	⑥小遣い	⑦交際費	⑧趣味・教養	⑨耐久消費財	⑩旅行・レジャー	⑪その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
JR北海道	6.1	8.3	4.9	15.2	13.6	12.9	8.7	8.3	8.7	13.3	0.0
JR東日本	5.0	5.3	5.9	15.8	13.2	11.2	8.8	10.6	9.8	14.2	0.3
JR東海	5.8	5.2	5.4	14.1	12.7	11.4	9.3	9.6	10.6	15.7	0.2
JR西日本	5.1	5.0	6.0	15.5	13.9	10.4	8.8	10.1	10.6	14.3	0.2
JR四国	5.5	6.8	7.6	16.4	13.1	12.3	8.6	11.2	8.6	9.7	0.3
JR九州	6.2	5.7	6.7	14.2	13.7	13.0	9.0	10.5	7.7	13.0	0.2
JR貨物	6.7	6.4	7.0	15.7	12.8	9.6	9.1	10.7	9.1	12.9	0.1
JRバス	4.5	8.1	9.0	18.9	11.7	13.5	6.3	7.2	9.9	10.8	0.0
関連会社	3.7	5.9	6.1	16.8	15.0	11.7	8.0	9.2	9.4	14.0	0.2
合計	5.3	5.5	6.1	15.6	13.4	11.0	8.8	10.3	9.8	14.0	0.2

〈表12〉 [質問事項6] =「夏季手当」の用途＝

会社名	①預貯金	②生活費	③衣類	④耐久財	⑤贈答品	⑥旅行	⑦借金	⑧住宅	⑨小遣い	⑩医療費	⑪教育費	⑫その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
JR北海道	19.1	20.6	8.3	5.4	4.4	10.8	8.8	3.9	10.8	4.9	2.5	0.5
JR東日本	20.5	21.3	6.3	7.4	4.6	7.5	11.2	4.6	9.3	3.4	2.9	1.1
JR東海	20.7	21.4	9.2	9.8	2.7	7.6	8.7	3.3	9.6	3.5	2.8	0.7
JR西日本	18.4	20.8	7.1	8.3	3.3	8.1	11.9	4.8	9.3	3.9	2.8	1.2
JR四国	17.4	24.0	10.1	7.3	4.5	5.6	9.7	6.6	6.3	4.9	3.1	0.7
JR九州	15.2	21.9	8.3	8.6	7.9	4.3	12.6	3.6	8.9	4.0	3.6	1.0
JR貨物	19.5	22.2	8.8	8.1	3.8	8.7	10.3	2.9	10.0	3.2	1.9	0.6
JRバス	18.4	23.0	8.0	5.7	6.9	5.7	6.9	5.7	10.3	5.7	3.4	0.0
関連会社	19.4	22.3	7.8	8.5	5.9	7.1	8.5	3.8	10.0	3.3	1.7	1.7
合計	19.6	21.4	7.2	7.9	4.2	7.6	10.9	4.4	9.3	3.6	2.7	1.0

〈表13〉 [質問事項7] =「住宅関連」の返済(人数と平均額)＝

会社名	毎月		夏季分		冬季分		一年間	
	人数	返済額	人数	返済額	人数	返済額	回答数	返済額
JR北海道	14	42,857	9	180,000	9	180,000	15	874,286
JR東日本	474	66,428	356	219,975	354	225,432	474	1,242,539
JR東海	76	61,892	50	188,920	50	193,920	76	1,125,545
JR西日本	240	67,654	171	201,970	170	202,293	242	1,216,108
JR四国	24	67,333	15	163,867	15	150,200	24	1,122,067
JR九州	47	59,511	34	177,647	34	178,235	47	1,070,010
JR貨物	77	67,078	41	122,976	42	124,381	79	1,052,292
JRバス	7	72,857	4	233,000	4	233,000	7	1,340,286
関連会社	33	62,970	15	284,733	15	282,733	33	755,636
合計	992	65,719	695	205,262	693	208,108	997	1,201,999

〈表14〉 [質問事項8] =「借金」の理由＝

会社名	①生活費		②耐久財		③住宅		④結婚		⑤旅行		⑥教育		⑦出産		⑧医療		⑨その他	
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%
JR北海道	18	30.5	13	22.0	15	25.4	0	0.0	5	8.5	2	3.4	0	0.0	3	5.1	3	5.1
JR東日本	217	17.4	302	24.2	493	39.4	7	0.6	51	4.1	106	8.5	1	0.1	50	4.0	23	1.8
JR東海	34	19.1	41	23.0	69	38.8	2	1.1	7	3.9	15	8.4	0	0.0	8	4.5	2	1.1
JR西日本	121	19.7	136	22.1	237	38.5	1	0.2	20	3.3	57	9.3	0	0.0	29	4.7	14	2.3
JR四国	21	24.1	19	21.8	28	32.2	0	0.0	4	4.6	7	8.0	0	0.0	6	6.9	2	2.3
JR九州	21	21.2	17	17.2	46	46.5	0	0.0	1	1.0	9	9.1	0	0.0	3	3.0	2	2.0
JR貨物	56	23.4	48	20.1	80	33.5	0	0.0	12	5.0	19	7.9	1	0.4	18	7.5	5	2.1
JRバス	5	31.3	3	18.8	4	25.0	0	0.0	0	0.0	2	12.5	0	0.0	1	6.3	1	6.3
関連会社	18	20.0	18	20.0	31	34.4	0	0.0	4	4.4	7	7.8	0	0.0	7	7.8	5	5.6
合計	511	19.4	597	22.7	1003	38.1	10	0.4	104	3.9	224	8.5	2	0.1	125	4.7	57	2.2

〈表15〉 [質問事項9] =「貯蓄」の目的＝

会社名	①家計		②住宅		③老後		④教育		⑤病気等		⑥結婚		⑦旅行		⑧出産		⑨その他	
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%
JR北海道	46	29.1	3	1.9	49	31.0	4	2.5	44	27.8	0	0.0	12	7.6	0	0.0	0	0.0
JR東日本	953	26.0	136	3.7	1161	31.7	148	4.0	1004	27.4	22	0.6	208	5.7	3	0.1	27	0.7
JR東海	137	23.7	15	2.6	186	32.1	19	3.3	164	28.3	6	1.0	42	7.3	1	0.2	9	1.6
JR西日本	416	24.6	47	2.8	537	31.8	71	4.2	465	27.5	11	0.7	123	7.3	2	0.1	16	0.9
JR四国	64	28.6	6	2.7	71	31.7	5	2.2	63	28.1	2	0.9	13	5.8	0	0.0	0	0.0
JR九州	57	26.8	4	1.9	70	32.9	5	2.3	60	28.2	1	0.5	11	5.2	0	0.0	5	2.3
JR貨物	174	25.6	22	3.2	207	30.4	26	3.8	185	27.2	9	1.3	50	7.4	2	0.3	5	0.7
JRバス	19	28.4	1	1.5	21	31.3	1	1.5	19	28.4	0	0.0	5	7.5	0	0.0	1	1.5
関連会社	89	26.3	9	2.7	104	30.7	12	3.5	96	28.3	1	0.3	25	7.4	0	0.0	3	0.9
合計	1955	25.7	243	3.2	2406	31.6	291	3.8	2100	27.6	52	0.7	489	6.4	8	0.1	66	0.9

〈表16〉 [質問事項10] =「生活改善」したい項目＝

会社名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	食生活	住宅	衣類	教育	借金	小遣い・交際費	趣味	税金・社会保険	医療	結婚	労働条件	寮生活	年金	単身赴任	遠距離通勤	昇進試験	定年延長	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
JR北海道	7.7	5.0	3.1	2.3	5.7	7.7	5.4	15.3	11.5	1.1	11.5	0.0	14.6	0.0	0.0	0.0	9.2	0.0
JR東日本	3.7	7.7	1.5	2.1	7.5	5.8	4.9	15.7	8.7	2.0	11.5	0.3	17.3	0.3	1.1	1.1	8.5	0.5
JR東海	5.6	5.4	1.3	1.6	6.3	6.3	5.0	15.4	9.5	1.1	14.2	0.0	17.9	0.2	2.1	2.9	4.9	0.2
JR西日本	4.2	6.5	1.7	2.2	7.8	5.5	4.5	15.5	9.9	2.3	12.3	0.2	16.5	0.4	1.6	1.2	7.1	0.4
JR四国	6.6	8.0	3.0	2.7	8.5	5.8	3.3	14.8	8.8	2.2	11.3	0.0	15.7	1.1	0.3	0.3	7.7	0.0
JR九州	5.1	6.8	1.4	2.0	11.9	5.4	3.4	12.4	6.5	0.8	12.7	0.0	18.6	0.3	1.7	1.1	9.0	0.8
JR貨物	5.5	8.1	1.5	1.6	8.0	7.4	6.0	14.0	7.6	1.4	13.3	0.5	15.0	0.3	2.3	1.5	5.9	0.4
JRバス	4.9	6.8	0.0	1.9	4.9	8.7	7.8	8.7	5.8	3.9	17.5	0.0	14.6	1.0	1.0	3.9	8.7	0.0
関連会社	5.8	7.7	2.4	1.5	5.6	7.5	6.0	16.0	9.8	0.9	12.9	0.2	17.7	0.0	1.3	0.5	3.6	0.5
合計	4.5	7.2	1.6	2.0	7.5	6.0	4.9	15.3	8.9	1.8	12.2	0.2	16.9	0.3	1.4	1.3	7.5	0.4

〈表17〉 [質問事項11] =「生活程度」について=

会社名	人数	①満足	②やや満足	③何とも 言えない	④やや 不満足	⑤不満足
		名	%	%	%	%
JR北海道	53	0.0	11.3	22.6	26.4	39.6
JR東日本	1,309	2.0	11.5	36.9	27.6	22.0
JR東海	207	0.5	15.5	35.7	27.5	20.8
JR西日本	612	2.3	18.3	33.7	28.8	17.0
JR四国	81	0.0	7.4	24.7	38.3	29.6
JR九州	83	1.2	6.0	39.8	26.5	26.5
JR貨物	254	0.8	9.4	31.1	32.3	26.4
JRバス	25	8.0	16.0	24.0	20.0	32.0
関連会社	124	0.0	8.1	30.6	27.4	33.9
合計	2,748	1.7	12.7	34.6	28.5	22.5

〈表18-3〉 [質問事項12] =「来春闘の要求額、年代別」=

会社名	2020年度の要求額			
	59歳以下		60歳以上	
	人数	要求額	名	要求額
JR北海道	18	35,389	35	42,886
JR東日本	903	37,052	425	44,802
JR東海	102	32,118	105	37,771
JR西日本	351	33,248	267	35,745
JR四国	51	29,608	30	47,270
JR九州	49	40,816	35	44,943
JR貨物	154	42,026	101	38,436
JRバス	12	20,833	14	41,786
関連会社	15	25,000	110	43,491
合計	1,655	36,041	1,122	41,260

〈表18-1〉 [質問事項12] =「来春闘の要求額」はいくらですか=

会社名	人数	2020年度の要求額														要求額 円
		～1万円		～2万円		～3万円		～4万円		～5万円		～6万円		6万円～		
		前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
JR北海道	53	10.6	9.6	27.7	23.1	27.7	25.0	6.4	1.9	23.4	26.9	0.0	3.8	4.3	9.6	41,115
JR東日本	1,328	15.6	15.9	15.9	16.2	25.1	23.0	3.6	4.2	27.0	27.2	1.9	1.8	11.0	11.7	39,532
JR東海	207	21.3	15.9	22.0	16.4	19.9	33.3	2.5	3.4	25.6	23.2	0.0	0.0	8.7	7.7	34,986
JR西日本	618	18.9	18.8	17.2	14.7	28.4	32.7	3.7	4.0	23.6	22.0	0.9	0.8	7.3	7.0	34,327
JR四国	81	17.6	22.2	12.9	18.5	30.6	21.0	3.5	0.0	24.7	23.5	1.2	1.2	9.4	13.6	36,149
JR九州	84	22.4	17.9	10.6	13.1	22.4	17.9	5.9	2.4	25.9	28.6	0.0	4.8	12.9	15.5	42,536
JR貨物	255	15.2	15.7	9.8	10.2	22.0	25.9	7.6	5.9	34.5	28.6	1.1	1.6	9.8	12.2	40,604
JRバス	26	30.4	28.0	10.9	12.0	21.7	16.0	4.3	0.0	28.3	36.0	0.0	0.0	4.3	8.0	33,400
関連会社	125	20.8	21.1	17.5	19.5	13.3	16.3	5.8	1.6	29.2	23.6	0.8	1.6	12.5	16.3	41,943
合計	2,777	17.3	17.0	16.1	15.5	24.7	25.6	4.0	3.9	26.8	25.7	1.3	1.5	9.8	10.7	38,205

〈表18-2〉 [質問事項12] =2018年春闘要求額の根拠=

(延べ回答数 6,578件)

会社名	①生活向上 資金	②赤字の補 填	③病気・老 後の備え	④教育資金	⑤住宅に関 する問題	⑥賃金評価 部分	⑦配偶者等 の収入の関係	⑧その他
	%	%	%	%	%	%	%	%
JR北海道	31.8	17.4	31.8	3.0	5.3	7.6	2.3	0.8
JR東日本	27.7	17.9	30.0	3.8	10.8	6.7	2.4	0.8
JR東海	29.7	18.9	32.1	3.5	8.5	6.1	0.9	0.4
JR西日本	29.8	17.7	29.5	3.8	8.8	7.5	2.0	0.8
JR四国	28.9	21.1	27.9	3.2	7.4	8.9	2.1	0.5
JR九州	27.9	19.5	25.6	4.7	10.2	8.4	1.9	1.9
JR貨物	30.0	19.5	24.2	4.7	10.0	8.6	2.0	1.1
JRバス	18.5	21.5	29.2	4.6	18.5	7.7	0.0	0.0
関連会社	30.5	18.0	28.1	3.1	7.8	7.1	4.4	1.0
合計	28.7	18.3	29.2	3.8	9.8	7.2	2.2	0.8

〈別表1〉 北海道会社 賃金の内訳
53名 (2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他(円)	総支給額(円)	控除額(円)	手取額(円)	回答者数	第二基本給(円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54	2	350,900	10,527	7,500	47,693	416,620	153,687	262,934	2	78,900
55	1	253,200	0	0	0	253,200	101,251	151,949	1	79,020
56	4	270,874	8,126	8,750	42,080	329,830	130,337	199,493	4	76,053
57	3	280,400	5,672	2,333	23,101	311,506	112,262	199,245	3	75,467
58	2	283,000	4,296	8,500	19,191	314,987	114,598	200,390	1	72,300
59	6	285,700	5,769	11,167	18,111	320,746	122,272	198,474	3	76,890
60	5	142,540	0	0	96,399	238,939	69,902	169,037		
61	12	148,192	0	0	95,549	243,741	78,237	165,504		
62	7	139,329	0	0	75,742	215,071	58,216	156,855		
63	4	155,500	0	0	13,670	169,170	48,835	120,335		
64	4	125,000	0	0	27,457	152,457	60,726	91,731		
65	2	125,000	0	0	41,534	166,534	46,514	120,020		
66										
67	1	131,300	0	0	25,103	156,403	33,954	122,449		
68										
	53	191,123	2,147	2,660	54,934	250,864	84,730	166,134	14	76,457

〈別表2〉 東日本会社 賃金の内訳
1,314名 (2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他(円)	総支給額(円)	控除額(円)	手取額(円)	回答者数	第二基本給(円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25	1	184,800	27,720	40,000	0	252,520	136,684	115,836		
26	1	210,600	0	0	127,076	337,676	153,962	183,714	1	25,350
27										
28										
29	1	220,000	0	0	68,904	288,904	119,599	169,305	1	29,550
30										
31	1	233,800	0	0	46,966	280,766	126,106	154,660		
32	2	224,800	11,240	8,675	55,335	300,050	105,318	194,732	2	33,810
33	2	235,400	0	15,000	76,873	327,273	102,873	224,401	1	36,240
34										
35										
36										
37	1	266,300	39,945	0	33,000	339,245	149,672	189,573		
38										
39	1	287,500	0	20,000	51,847	359,347	180,353	178,994	1	47,340
40										
41	1	294,600	0	40,000	67,288	401,888	123,504	278,384	1	47,490
42	1	316,800	47,520	0	84,820	449,140	159,271	289,869	1	51,030
43	2	287,250	0	0	43,618	380,868	90,915	189,953	1	47,070
44	1	332,400	0	0	120,647	453,047	217,967	235,080	1	55,080
45										
46	1	354,300	0	16,000	63,798	434,098	330,134	103,964		
47	1	296,200	0	0	28,234	324,434	117,932	206,502		
48										
49										
50										
51										
52										
53	4	341,933	12,428	500	43,813	398,673	190,915	207,758	2	62,520
54	10	358,870	4,962	9,000	33,163	405,995	168,120	237,876	8	64,011
55	69	366,402	18,552	9,362	61,066	455,383	186,212	269,170	27	66,014
56	157	370,247	12,966	10,178	61,923	455,314	200,170	255,144	63	64,780
57	158	362,260	13,653	9,820	57,409	443,141	191,537	251,604	60	62,794
58	222	356,395	12,603	9,464	61,332	439,795	184,995	254,800	82	61,425
59	262	349,300	12,856	8,721	54,805	425,682	181,493	244,189	71	59,464
60	163	204,439	3,091	1,915	64,529	273,975	120,551	153,424	11	58,015
61	107	170,787	0	0	79,957	250,744	93,950	156,794		
62	61	169,064	0	0	64,844	233,909	85,603	148,306		
63	43	167,388	0	0	33,984	201,372	74,912	126,459		
64	40	171,667	0	0	28,493	200,160	74,561	125,600		
65	1	174,400	0	0	600	175,000	82,718	92,282		
66										
	1,314	302,180	9,421	6,658	59,480	377,545	159,177	218,216	334	57,464

〈別表3〉 東海会社

賃金の内訳

205名

(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他 (円)	総支給額 (円)	控除額 (円)	手取額 (円)	回答者数	第二基本給 (円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33	1	250,400	0	0	109,269	359,669	106,135	253,534		
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40	2	340,900	0	2,500	115,761	459,161	200,382	258,779		
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49	1	395,400	22,000	7,000	88,956	513,356	185,231	328,125		
50	1	335,300	22,000	0	114,420	471,720	191,961	279,759		
51										
52										
53										
54	1	379,300	42,000	5,000	36,673	462,973	198,865	264,108		
55	7	371,650	19,333	5,889	109,255	506,127	181,500	324,627		
56	11	378,650	18,619	10,595	120,544	528,408	201,237	327,171		
57	18	381,257	21,722	5,783	88,477	497,238	202,972	294,266		
58	27	409,837	21,492	6,675	96,375	534,378	208,164	326,213		
59	32	393,994	18,567	5,950	109,968	528,479	225,786	302,693		
60	31	203,686	444	0	55,179	259,310	126,926	132,384		
61	20	192,647	0	0	47,067	239,714	94,038	145,676		
62	24	178,218	194	0	50,903	229,316	78,107	151,208		
63	18	180,319	0	0	42,070	222,389	72,211	150,178		
64	11	182,434	4,492	0	50,373	237,299	86,750	150,549		
65										
66										
205		287,315	11,267	3,054	78,930	380,566	150,576	229,991		

〈別表4〉 西日本会社

賃金の内訳

611名

(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他 (円)	総支給額 (円)	控除額 (円)	手取額 (円)	回答者数	第二基本給 (円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
18										
19										
20										
21										
22	1	182,055	0	0	33,545	215,600	43,354	172,246		
23										
24	1	189,460	5,683	0	56,691	251,834	58,006	193,828		
25										
26	1	205,120	6,153	0	124,081	335,354	105,916	229,438		
27										
28	2	210,570	6,317	0	50,650	267,536	98,622	168,914		
29										
30										
31	3	232,053	12,776	7,000	103,675	355,504	157,878	197,626		
32										
33	1	242,620	7,278	21,000	67,299	338,197	109,966	228,231		
34	1	289,690	5,690	17,500	93,973	406,853	176,288	230,565		
35	1	244,575	24,457	8,142	125,233	402,407	215,584	186,823		
36	2	235,570	16,287	0	62,500	314,357	133,619	180,738		
37										
38	2	295,511	29,551	19,250	115,246	459,558	163,527	296,031		
39	2	285,820	18,458	8,500	81,298	394,076	174,145	219,931	1	
40	3	278,027	13,848	10,000	33,878	335,753	146,762	188,991	1	
41	1	308,640	30,864	21,000	30,305	390,809	132,650	258,159	1	
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53	3	328,750	25,819	9,333	52,416	416,318	201,278	215,040	2	
54	3	374,970	20,170	17,500	94,544	507,184	204,978	302,206	1	
55	30	345,864	17,948	10,850	78,909	453,571	206,656	246,915	19	
56	55	343,509	21,435	8,333	66,551	439,828	191,272	248,556	34	
57	58	351,232	18,258	8,931	69,940	448,361	194,158	254,204	35	
58	85	347,963	22,784	9,333	74,534	454,614	192,180	262,434	47	
59	93	343,989	22,200	8,234	75,006	449,429	181,139	268,291	54	
60	81	308,461	10,128	4,372	65,527	388,488	121,338	267,149	20	
61	67	272,372	1,175	265	40,626	314,439	78,424	236,015	2	
62	42	263,553	0	0	32,461	296,014	78,338	217,675		
63	43	260,107	0	405	24,308	284,821	71,595	213,226		
64	22	266,648	0	0	18,117	284,765	66,300	218,465		
65	8	264,865	0	0	10,868	275,733	57,626	218,107		
66										
611		314,355	13,297	5,746	59,510	392,908	145,190	247,718	217	52,209

〈別表5〉 四国会社

賃金の内訳

81名

(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他(円)	総支給額(円)	控除額(円)	手取額(円)	回答者数	第二基本給(円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46	1	299,300	0	19,500	85,192	403,992	243,696	160,296	1	68,980
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54	4	346,050	0	12,250	42,959	401,259	205,259	195,999	4	79,945
55	7	277,360	0	9,214	51,577	338,152	188,248	149,904	6	79,330
56	10	275,127	0	7,000	46,538	328,665	138,771	189,894	6	77,103
57	3	290,307	0	7,000	71,687	368,994	167,172	201,822	1	81,860
58	14	271,983	0	6,643	55,373	333,999	147,598	186,402	12	72,958
59	12	283,333	0	11,917	33,381	328,631	150,221	178,411	9	76,722
60	15	176,159	0	933	32,098	209,190	86,176	123,014	3	74,107
61	9	159,778	0	0	31,863	191,641	60,833	130,808		
62	5	155,600	0	0	19,244	174,844	60,848	113,996		
63	1	154,000	0	0	54,094	208,094	58,654	149,440		
64										
65										
66										
81		240,338	0	5,852	41,887	288,077	127,701	160,376	42	76,132

〈別表6〉 九州会社

賃金の内訳

83名

(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他(円)	総支給額(円)	控除額(円)	手取額(円)	回答者数	第二基本給(円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26	1	202,000	0	4,500	83,833	290,333	104,195	186,138	1	32,250
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33	1	218,600	0	24,000	85,136	327,736	105,207	222,529	1	36,120
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40	1	273,100	0	13,500	85,693	372,293	153,829	218,464	1	62,560
41										
42										
43										
44										
45	1	309,700	15,485	9,000	68,439	402,624	224,105	178,519		
46	1	310,800	0	9,000	93,319	413,119	153,136	259,983		
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55	2	270,800	0	0	66,691	337,491	162,530	174,962	1	75,680
56	7	275,871	5,831	7,714	73,712	363,129	167,472	195,657	5	77,542
57	11	274,655	8,803	9,273	63,123	355,853	155,490	200,363	6	76,463
58	10	273,150	5,402	10,200	55,129	343,880	145,166	198,714	6	74,555
59	13	275,808	4,209	11,731	65,756	357,504	150,875	206,629	7	74,666
60	9	192,622	4,071	3,333	47,427	247,454	98,978	148,475	2	75,240
61	6	152,100	3,803	0	54,241	210,143	73,748	136,396		
62	11	152,100	2,765	0	41,750	196,616	75,214	121,402		
63	7	155,529	1,172	0	37,196	193,897	66,406	127,491		
64	1	152,100	7,605	0	42,587	202,292	52,636	149,656		
65										
66	1	134,683			14,290	148,973	20,793	128,180		
83		226,746	4,428	6,030	56,567	293,771	121,207	172,564	30	72,452

〈別表7〉 貨物会社

251名

賃金の内訳
(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他(円)	総支給額(円)	控除額(円)	手取額(円)	回答者数	第二基本給(円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
19	1	154,200	3,855	0	39,722	197,777	43,577	154,200		
20	3	151,667	3,792	0	18,757	174,216	52,245	121,971		
21	2	150,900	3,773	0	22,455	177,128	44,555	132,573		
22										
23	2	165,900	10,369	0	26,506	202,775	51,782	150,993		
24										
25										
26										
27	2	179,150	4,479	0	109,604	293,232	128,419	164,814		
28	3	198,425	12,335	0	40,145	250,905	75,691	175,214		
29	3	205,300	10,297	0	49,957	265,554	98,976	166,579		
30	7	202,094	7,268	0	36,226	245,589	66,898	178,692		
31	2	209,400	20,940	8,000	179,850	418,190	88,833	329,357		
32										
33	2	235,900	5,897	8,000	142,244	392,041	101,027	291,014		
34										
35										
36	2	246,050	2,841	4,000	110,786	363,677	97,965	265,712		
37										
38	3	266,875	38,263	0	30,971	336,109	94,827	241,282		
39										
40	1	110,500			5,880	116,380	51,551	64,829		
41	2	291,300	18,176	8,000	89,807	407,283	158,823	248,460		
42	1	304,500	7,612	24,000	318,661	654,773	155,049	499,724		
43	4	287,183	13,927	8,000	105,466	414,576	161,641	252,935		
44	2	300,700	7,518	24,000	298,850	631,068	121,346	509,722		
45	4	312,350	19,646	12,000	86,607	430,603	119,420	311,183	1	53,880
46	5	308,850	21,345	2,667	55,841	388,703	135,990	252,713		
47	7	305,125	22,404	8,000	143,194	478,723	146,546	332,178	1	53,820
48										
49										
50										
51	1	309,000	30,900	16,000	150,615	506,515	111,153	395,362		
52										
53	2	357,400	8,935	4,000	16,950	387,285	158,093	229,192	1	62,640
54	5	364,967	18,103	6,000	17,859	406,929	159,009	247,919		
55	6	281,500	7,037	5,333	52,120	345,991	174,040	171,950		
56	13	290,548	9,905	6,167	63,404	370,024	144,488	225,536		
57	16	298,425	14,165	3,600	70,879	387,069	129,408	257,661	2	62,415
58	24	290,691	13,424	6,656	71,876	382,648	153,536	229,112	3	61,263
59	28	294,836	11,514	2,946	58,059	367,356	131,800	235,556	2	58,050
60	19	163,771	846	2,844	94,905	262,366	106,843	155,523		
61	24	146,804	951	1,176	77,702	226,633	72,449	154,184	1	55,590
62	23	156,412	1,742	3,256	56,575	217,985	90,830	127,155	1	53,160
63	17	152,492	0	4,167	37,129	193,787	79,001	114,786	1	54,000
64	3	153,911	0	4,444	50,942	209,298	80,123	129,175		
65	3	167,167	0	2,667	64,392	234,226	79,387	154,839		
66	1	140,500	0	8,000	11,400	159,900	46,629	113,271		
67	5	150,500	0	0	60,890	211,390	88,800	122,590		
68	2	160,500	0	4,000	37,041	201,541	69,429	132,112		
69	1	160,500	0	0	19,200	179,700	52,710	126,990		
251		230,685	8,842	4,482	70,376	314,365	114,659	199,705	13	51,482

〈別表8〉 JRバス会社

26名

賃金の内訳
(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他(円)	総支給額(円)	控除額(円)	手取額(円)	回答者数	第二基本給(円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41	1	217,200	0	14,000	98,532	329,732	89,721	240,011		
42										
43	1	186,750	0	15,000	18,306	220,056	77,781	142,275		
44	1	176,000	0	0	70,170	246,170	68,588	177,582		
45										
46										
47	2	247,015	20,093	5,500	219,060	491,668	117,993	373,675		
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57	2	251,746	16,719	750	84,442	353,657	113,930	239,727	1	35,700
58	3	263,837	31,274	4,000	135,637	434,747	201,806	232,942		
59	2	336,421	25,843	0	107,487	469,751	166,988	302,763	1	56,280
60	1	255,726	35,801	17,500	192,853	501,880	130,762	371,118		
61	3	172,025	0	0	125,350	297,375	144,409	152,965		
62	4	156,770	0	0	60,107	216,878	79,193	137,684		
63	5	163,550	0	0	63,899	227,449	69,524	157,925		
64										
65	1	158,500	0	0	57,607	216,107	73,420	142,687		
66										
26		208,653	9,607	2,885	98,885	320,030	110,871	209,158	2	45,990

〈別表9〉 関連会社

賃金の内訳

122名

(2019年8月 賃金・生活実態調査)

年齢	回答者数	基準内賃金(円)			その他 (円)	総支給額 (円)	控除額 (円)	手取額 (円)	回答者数	第二基本給 (円)
		基本給	都市手当	扶養手当						
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27	1	178,800	0	0	0	178,800	38,672	140,128		
28	1	171,300	0	0	39,043	210,343	43,591	166,752		
29	1	184,800	0	0	18,000	202,800	52,287	150,513		
30	1	179,600	0	0	66,415	246,015	57,627	188,388		
31										
32										
33										
34										
35										
36	1	140,850	0	0	55,067	195,917	52,529	143,388		
37										
38	1	163,200	10,000	0	96,005	269,205	80,009	189,196		
39										
40										
41	1	148,100	0	0	109,322	257,422	48,894	208,528		
42										
43										
44	1	238,800	0	0	55,079	293,879	67,422	226,457		
45	1	230,000	0	0	44,195	274,195	65,827	208,368		
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55	1	151,100	0	0	52,790	203,890	51,265	152,625		
56										
57	1	361,300	42,000	0	27,042	430,342	150,331	280,011		
58										
59	2	312,358	16,496	16,000	10,750	355,604	138,631	216,973		
60	23	205,594	944	762	33,514	240,814	86,939	153,875		
61	26	148,072	0	500	66,708	215,280	55,002	160,278		
62	22	158,431	0	1,250	74,670	234,351	59,883	174,468		
63	13	242,230	0	0	48,344	290,574	94,809	195,765		
64	13	181,135	0	0	42,313	223,449	81,365	142,084		
65	2	210,000	0	5,000	42,823	257,823	29,255	228,568		
66	4	161,800	0	0	6,248	168,048	26,570	141,478		
67	2	141,000	1,500	3,000	1,750	147,250	30,380	116,870		
68	4	130,333	0	0	8,983	139,317	11,529	127,788		
	122	176,590	721	443	42,984	220,737	71,428	149,309		

機 関 名		2019年度		
エリア	地本	回収枚数	配布数	回収枚数
北海道		1	20	1
東日本			5	
	盛岡		40	4
	秋田		20	
	仙台		30	
	新潟		20	
	高崎		20	
	水戸		20	
	千葉		20	
	東京	4	140	
	長野	2	20	
東海			5	
	静岡		20	
	名古屋	1	20	
	新幹線		20	
西日本			5	
	北陸		20	
	近畿		30	
	米子	4	20	4
	岡山	1	20	
	広島		20	
四国		2	20	1
九州		2	20	2
本部			25	
合 計		17	600	12

○西日本・59才
やはり社会保険が高いと感じます。ガ
ス代がこの月は支払わない月だったので

計上していませんが、月にならずと約1
万円位。増税(10%)に慣れたら又、
仕送りも増額の必要もあるだろうし、

○西日本・57才
子供の授業料は半年払いなので、こ
の期間でないし、車検代も2台あって
も今月ではない。調査期間外に多額の
支出がある場合について、バラツキが
出るのはいかたないことなのですか。
(家族数3人)

徐々に増税の影響が出てくるかも。私
は月々定額の小遣い制ではありません
が、定額制の人は「小遣い」と「各支
出」との二つの支出が重なりません
か？(家族数5人)

○東日本・56才
野菜の自家栽培をしたら、食費が思
いのほか抑えることができたので、そ
の分を貯金にまわすことができました。
(家族数2人)

○九州・59才
毎日、そして週単位で集計するので、
計算しやすく、楽しんで家計簿をつけ
ています。(家族数3人)

○九州・60才
再雇用になっての初めての給料だつ
たため、特別支出はなく、節約に努め、
どうにか黒字になったが、国定資産税、
自動車税、他年払いとなっているもの
は含まれていない。間近に迫っている
年金生活を考えるとまだまだ引き締め
が必要だと感じる。(家族数2人)

2019年度家計簿 調査と「感想・意見」

2019年9月分「家計簿調査」

(単位:円、%)

項目		全国平均		北海道	東日本	東海	西日本	四国	九州	
		金額	%	金額	金額	金額	金額	金額	金額	
収入 ①	総支給額	357,561	80.3	256,023	364,607		403,120	369,449	297,177	
	前月からの繰入金	9,164	2.1	0	3,016		18,575	0	11,801	
	上記以外の収入	71,157	16.0	14,000	70,819		68,075	12,000	136,152	
	実収入以外の収入	7,257	1.6		0		12,750	36,089	0	
	収入合計	445,139	100.0	270,023	438,442		502,520	417,538	445,129	
支出 ②	消費支出 ③	食費	65,157	15.1	79,620	68,852		60,767	106,315	38,739
		住居費	11,579	2.7		8,750		10,852	0	30,273
		水道光熱費	21,262	4.9	35,924	21,182		22,093	22,925	11,600
		日用品	7,277	1.7		4,435		13,751	6,674	3,954
		被服・美容費	7,400	1.7	6,500	10,481		6,134	665	7,591
		娯楽費	11,060	2.6	3,250	18,200		11,035	3,877	4,324
		交通費	17,207	4.0	5,320	26,686		18,907	0	9,395
		教育費	25,518	5.9		9,600		43,953	42,000	25,000
		医療費	5,340	1.2	7,380	7,295		4,135	980	5,000
		交際費	14,026	3.2		16,439		24,375	0	2,530
		こづかい	34,917	8.1	30,000	26,750		35,000	50,000	46,000
		通信費	19,798	4.6	7,421	21,156		21,136	28,899	16,046
		社会活動費	15,077	3.5	5,641	11,380		25,294	11,154	8,714
		その他	6,427	1.5		0		8,299	10,244	16,845
	消費支出合計	262,046	60.6	181,056	251,206		305,730	283,733	226,010	
消費支出 ④	所得税	6,819	1.6	3,560	7,688		6,888	4,000	7,985	
	社会保険	58,268	13.5	40,578	51,708		74,116	55,141	50,102	
	その他の税	22,792	5.3	20,500	24,325		24,525	19,400	19,100	
	その他の社会保障	3,712	0.9	25,620	0		4,730	0	0	
	0	0.0		0		0	0	0	0	
非消費支出合計	91,591	21.2	90,258	83,720		110,259	78,541	77,187		
実支出 以外の支出 ⑤	預・貯金	25,306	5.8		19,688		16,750		78,959	
	保険掛金	29,193	6.7	27,227	27,385		24,924	55,264	29,293	
	土地家屋借金返済	14,340	3.3		28,750		14,270		0	
	その他の借金返済	10,175	2.4		23,150		7,375		0	
	その他	0	0.0		0		0		0	
	0			0		0		0	0	
	0			0		0		0	0	
実支出以外の支出合計	79,013	18.3	27,227	98,973		63,319	55,264	108,251		
支出合計(③+④+⑤)	432,650	100.0	298,541	433,899		479,307	417,538	411,448		
翌月への繰越金(①-②)	12,489		-28,518	4,543		23,213	0	33,682		
サンプル数	12		1	4		4	1	2		

項目	全国平均	北海道	東日本	東海	西日本	四国	九州
年齢	58.3	61.0	57.3		57.8	59.0	59.5
勤続数	39.3	43.0	38.3		39.3	41.0	39.0
家族数	2.8	2.0	2.0		3.8	4.0	2.5
基本給	290,509	159,300	312,325		344,512	277,360	211,050

▶▶▶ 発行日 2020年1月25日
▶▶▶ 発行者 国鉄労働組合